

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	ひとり親家庭レクリエーション					所管	区民部 子育て・若者支援課
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和53年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等	その他	[法令等名]	なし				
	事業対象	区内在住のひとり親家庭の親と子供(4歳から義務教育終了前まで)						
	事業目的	親子関係が希薄になりがちな、ひとり親家庭において、親子で過ごす時間を作ることは重要なことであり、普段交流の少ない家庭同士が連携することにより、ひとり親家庭の福祉増進を図る。						
事業内容	年2回(春・秋)台東区母子寡婦福祉協議会と共催で、ひとり親家庭を無料招待し、関東近辺のレジャー施設にバスで日帰りのレクリエーションを開催する。							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	実施回数	回	2	2	2	2	
		成果指標	満足度	%	100.0	100.0	89.5	100.0
		参加者数	人	80	79	84	68	
	決算額 (単位:千円)				263	444	404	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			2,556	2,125	1,604	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			263	444	404	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			2,819	2,569	2,008	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			163	245	173			
一般財源(区負担額)			2,656	2,324	1,835			
前回評価から改善した事項	広報とホームページに加え、窓口にポスターを貼ることで周知を図り、手続きにきた方が気軽に申し込めるようにした。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	親子関係が希薄になりがちな、ひとり親家庭において、親子で過ごす時間を作ることは重要なことであり、参加者の満足度も高い。また交通遺児・母子福祉基金の収益を充てることで、交通遺児等のひとり親家庭の福祉の向上につながっている。					
	効率性	3	窓口にポスターを貼りだすことにより、ひとり親家庭への認知も広まっている。実施方法は、年2回のバスによる日帰りレクリエーションの方法を継続しており、効率性に大きな変化はない。					
	手段の適切性	4	ひとり親家庭にとって、郊外施設への外出は経済的な負担も大きく、交通手段も限られる。現在の大型バスによる移動は、小さいお子さんを持つ方にとっても参加しやすい形態である。					
目的達成度	4	バスレクリエーションの参加申込みは定員を超過しており、当日のアンケートでは満足度も高いため、目的は達成している。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
ひとり親家庭が親子で楽しめる機会をつくることにより、ひとり親家庭の福祉の向上につながるため、継続していく。						維持		